

音楽科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日時・場所 平成20年11月〇日(〇)

2 学年・学級 第2学年〇組

3 題材 篠笛に親しもう

4 教材 「たこたこあがれ」「とうふ屋さん」「夜鳴きそば」

5 題材の目標

- 篠笛の基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が吹けるようになることで篠笛に親しみ、日本の音楽の特徴を感じ取ることができる。

6 題材について

- 現行の学習指導要領が実施されて7年になる。この学習指導要領には「和楽器については、3年間を通じて1種類以上の楽器を用いること」と明記された。また、その配慮事項の中に「実際に和楽器に触れ、体験することで、我が国や郷土の伝統音楽の学習効果をさらに高め、充実させていくことが期待できる」とある。一つの和楽器の奏法を時間をかけて学ぶことは、その演奏技能を高めるという意味ではなく、楽器や演奏や音楽の特徴を深く知ることができる。このことにより、日本の音楽の共通した特徴についても自然に触れ、理解することができる効果がある。これらのことから、本校では「一つの和楽器」として、比較的廉価なものも出ていて、生徒が個人持ちにできる篠笛を用いることにしている。

篠笛は、アルトリコーダーに比べ曲の演奏ができるようになるまでに時間がかかる。しかし、生徒は「少し難しいけど、ちょっと頑張ったら何とかできるもの」には意欲的に取り組む傾向にある。本題材は基本的な奏法について、「発音」「構えと三つの音」「打つ」の三つに分け、段階的に進めるようにしている。また扱う曲は、初めて演奏する生徒にとっては、長時間篠笛を吹くことは酸欠状態になりやすく集中力を欠くため、短く、「五」「六」「七」の三音で構成された「とうふ屋さん」「夜鳴きそば」「たこたこあがれ」の3曲としている。

- 本校の生徒は〇〇、〇〇、〇〇、〇〇〇、〇〇〇の五つの小学校より入学してくる。校数は多いが、それぞれの人数はあまり多くないためか、小学校での音楽の学習経験の差はそれほど感じられない。第2学年の生徒は音楽の表現活動に対して意欲的な生徒が多い。しかし、アルトリコーダーを第2学年から学習したため、器楽の表現活動の経験は少ない。生徒たちは日本の音楽に関しては第1学年で「六段の調べ」「鶴巣鈴慕」を鑑賞教材として学習しているが、和楽器の演奏については学習した経験はないようである。
- 篠笛の奏法を学習するにあたっては、篠笛が難しくて遠いものではなく、生徒たちが「なんとかなる」と思えるように指導していきたい。そのために、はじめは口の形や構えが多少不十分でも「音が出ておもしろい」からスタートさせたいと考えている。また、篠笛の奏法を学習する過程でアルトリコーダーの奏法と比較することで、篠笛の奏法の特徴が日本の音楽の特徴の一つであることを感じ取らせたり、篠笛に親しんだりすることができるようにしたい。

7 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の能力
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(篠笛の音色や響き, 奏法の特色や効果など)を生かすことに関心を持ち, 器楽表現をすることに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(篠笛の音色や響き, 奏法の特色や効果など)を感じ取り, それらを生かして器楽表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(篠笛の音色や響き, 奏法の特色や効果など)を生かして器楽表現をする技能を身に付けている。
学習活動における具体の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 篠笛の音を出すことに関心を持ち, 意欲的に取り組んでいる。 ② 篠笛の曲を音を切らない奏法で表現することに意欲的である。 ③ 篠笛で「打つ」奏法を表現することに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 篠笛の音色や響きを感じ取り, 表現を工夫している。 ② 篠笛の音を切らない奏法の特色や効果を感じ取っている。 ③ 「打つ」奏法の特色や効果を感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 篠笛の音を出すため技能を身に付けている。 ② 篠笛の「五」「六」「七」の運指を身に付けている。 ③ 篠笛の曲を音を切らない奏法で表現する技能を身に付けている。 ④ 「打つ」奏法を身に付けている。

8 指導計画 (3時間)

ねらい	時	○学習(指導)内容 ・学習活動	【評価規準】 (評価方法)	教材
篠笛の構造や音の出し方について知る。	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器各部の名称を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 篠笛について ・ 必要な用語の解説 ○ 音を出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アルトリコーダーの構造と比較し, 音の出る原理を確認する。 ・ 口の形の作り方を知る。 ・ 息の出る角度を確認してみる。 ・ 篠笛を口に当て, (角度, 当てる強さ) 音を出してみる。 ・ 息を調整しながらできるだけ長く音を出してみる。 	<p>【ア①, イ①】</p> <p>(観察, 学習シート)</p>	

<p>五、六、七の音を使って曲を吹く。</p>	<p>2</p>	<p>○ 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口の形、息の方向、楽器の当て方を考えながら、音を出す。 ・ できるだけ長く音を出す。 <p>○ 構えを学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口、左手、右手小指の三点で支えてみる。 ・ 三点で支えた形で音を出す。 ・ その他の指の当て方を知る。 <p>○ 「五」「六」「七」の音を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「五」「六」などの音の名称の意味を知る。 ・ 「五」「六」「七」の音を出してみる。 <p>○ 「とうふ屋さん」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜の読み方を知る。 ・ 唱歌について知り、唱歌をする。 ・ タンギングをせず、音を切らずに吹くことを確認する。 ・ 「とうふ屋さん」を練習する。 <p>○ 「夜鳴きそば」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 唱歌をする。 ・ 「夜鳴きそば」練習する。 	<p>【ア①、イ①、ウ①】 (観察)</p> <p>【ウ②】(観察)</p> <p>【ア②、イ②、ウ③】 (観察, 学習シート)</p> <p>【ア②、イ②、ウ③】 (観察, 学習シート)</p>	<p>「とうふ屋さん」</p> <p>「夜鳴きそば」</p>
<p>「打つ」奏法(指ピョン)を使って曲を吹く。</p>	<p>3 (本 時)</p>	<p>○ 前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口の形を確認しながら音を出す。 ・ 五・六・七の音を使った曲を吹く。 <p>○ 「たこたこあがれ」を吹く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同音が続くときの奏法を知る。 ・ 唱歌で音の確認をする。 ・ 「たこたこあがれ」を吹く。 	<p>【ア③、イ③、ウ④】 (観察, 学習シート)</p>	<p>「とうふ屋さん」</p> <p>「夜鳴きそば」</p> <p>「たこたこあがれ」</p>

9 本時の目標

- 篠笛の「打つ」奏法（指ピョン）の特色や効果を感じ取り，奏法を身に付けることができる。

10 学習過程

学 習 活 動	○教師の指導・支援 【評価規準】
<p>1 取り組み記録の配布</p> <p>2 アルトリコーダーの復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音階練習をする。 ・ 既習曲（「オーラ リー」）を吹く。 <p>3 篠笛の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五・六・七の音を確認する。 ・ 「とうふ屋さん」を吹く。 ・ 「夜鳴きそば」を吹く。 	<p>○ 取り組み記録，学習シートを配布する。</p> <p>○ 運指を確認して，音階練習をする。</p> <p>○ 低音の運指と発音に気をつけながら吹く。</p> <p>○ 拍やアーティキュレーションに気をつけながら吹く。</p> <p>○ 運指を確認して，音練習をする。</p> <p>○ 奏法に気をつけながら，曲想を考えて吹く。</p>
<p>「指ピョン（打つ）」の奏法をマスターしよう</p>	
<p>4 「たこたこあがれ」の演奏をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「\」の意味を知る。 ・ 連続音の表現をCDで聴く。 ・ 「指ピョン」の奏法を知る。 ・ 「指ピョン」練習をする。 ・ 「たこたこあがれ」の唱歌をする。 ・ 「たこたこあがれ」の練習をする。 ・ 「たこたこあがれ」を吹く。 <p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み記録に記入する。 	<p>○ 楽譜から新出のものを探す。</p> <p>○ 同音の連続に気づかせる。</p> <p>○ CDの演奏から奏法について考える。</p> <p>【イ③】（発言，観察）</p> <p>○ アルトリコーダーと違い，タンギングではなく指で切ることを知る。</p> <p>○ 指を素早く動かすことや，指を上げすぎないように気をつける。</p> <p>【ア③】（観察，取り組み記録）</p> <p>○ 旋律と運指を覚える。</p> <p>○ 「指ピョン」と息継ぎに気をつけて練習する。</p> <p>【イ③，ウ④】（観察）</p> <p>○ 取り組み記録，学習シートを回収する。</p>